

新型コロナウイルス感染症に係る栃木県内NPO等支援のためのアンケート結果 報告書

2020年5月26日
とちぎボランティアNPOセンター

1 調査の概要

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、栃木県内の社会貢献活動団体がどのような影響を受けたのかを把握し、今後の支援につなげていくことを目的とする。

(2) 実施方法

とちぎボランティアNPOセンターのホームページ上にアンケートを掲示し、回収。

ア 対象団体：栃木県内のNPO法人及び社会貢献活動団体

イ 実施期間：2020年4月25日（土）～5月7日（木）

ウ 調査項目

- ① 新型コロナウイルス感染症による団体への影響
- ② 必要な支援
- ③ 感染拡大を防止し、参加者の健康を守るための取組
- ④ 新型コロナ感染症に対抗する新たな事業や取組
- ⑤ 感染拡大に伴う活動の悩みや懸念

(3) 有効回答数：72件

2 アンケート結果

(1) 新型コロナウイルス感染症による団体への影響

- ・「影響が出ている」79.2%、「今後影響があると思う」11.1%

＜影響の内容＞「事業・活動の減少」82.8%、「運営スタッフ確保困難」17.2%、
「事業・活動の増加」10.9%

＜事業費の減額等＞平均 約279万円、最大1,500万円、最小5万円

(2) 必要な支援

- ・「情報提供」47.0%、「資金支援」39.4%、「各種支援手続きのサポート」25.8%

(3) 感染拡大を防止し、参加者の健康を守るための取組

- ・「マスク着用・アルコール消毒等」67.6%、「会議やイベントの延期や代替え」62.2%、
「活動・事業の休止」59.5%

(4) 新型コロナ感染症に対抗する新たな事業や取組

- ・「行政等と連携」69.4%、「同様の活動分野の団体等と連携」38.9%、
「同じ地域内の団体等と連携」25.0%

栃木県内NPO等の新型コロナウイルス感染症の
感染拡大への対応及び影響に関するアンケート

アンケート結果

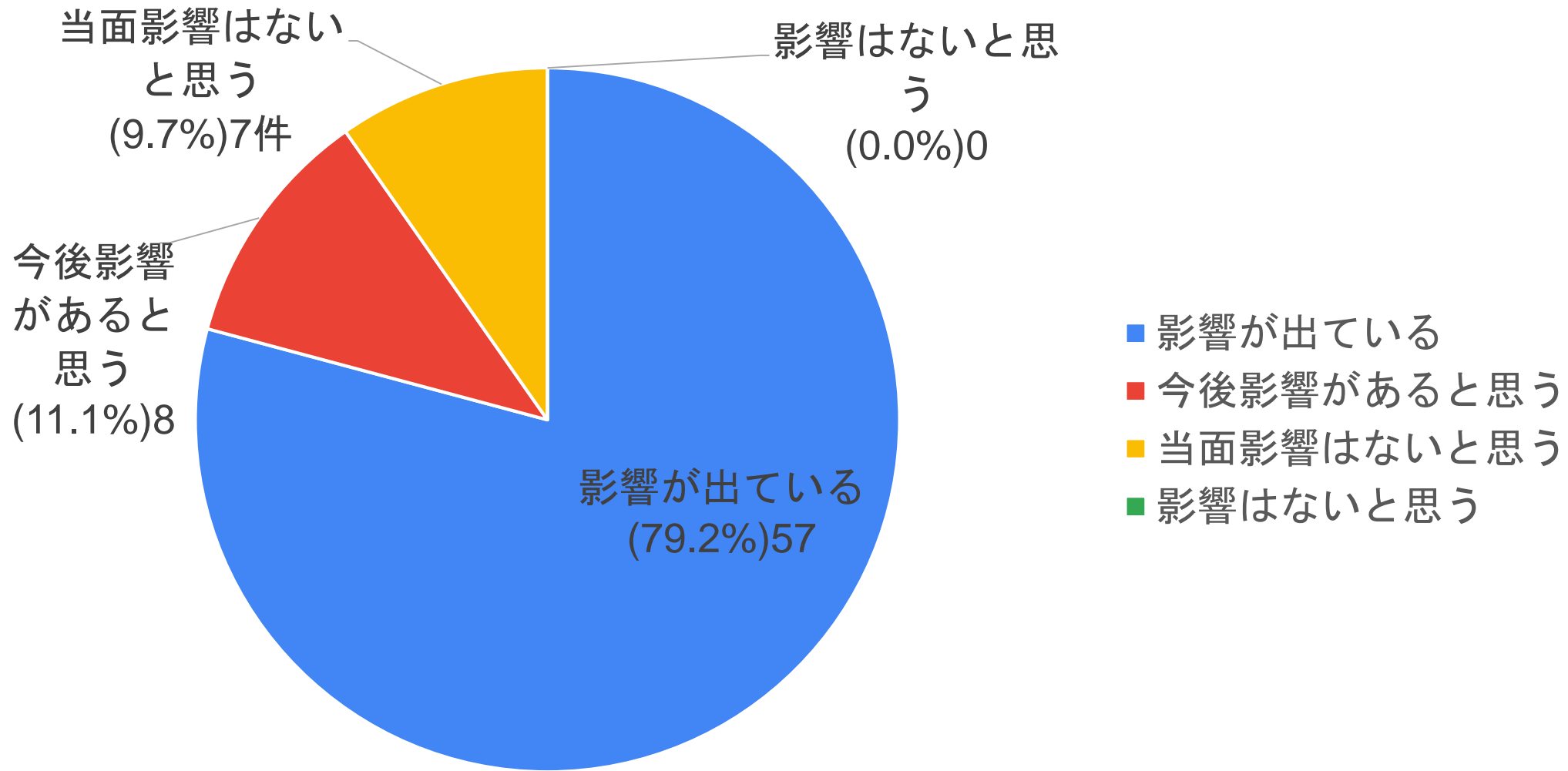
調査期間：令和2年4月25日～5月7日

有効回答数：72件

とちぎボランティアNPOセンター ぽ・ぽ・ら

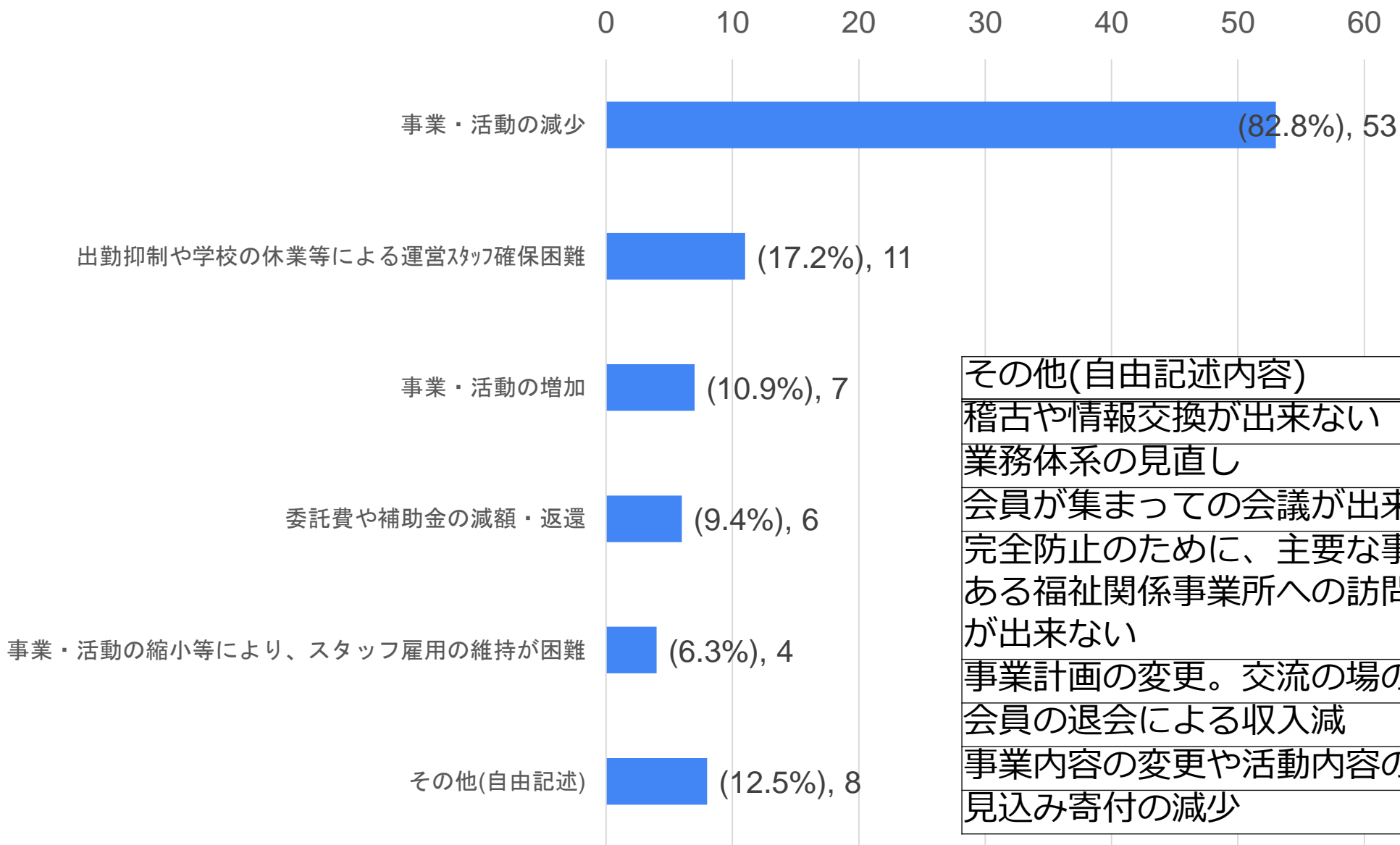
1 新型コロナウイルス感染症による貴団体への影響について

(N=72)



1-1 影響の内容について

※複数回答可(N=64)



その他(自由記述内容)
稽古や情報交換が出来ない
業務体系の見直し
会員が集まったの会議が出来ない
完全防止のために、主要な事業である福祉関係事業所への訪問調査が出来ない
事業計画の変更。交流の場の減少
会員の退会による収入減
事業内容の変更や活動内容の減少
見込み寄付の減少

1-3 減少した（すると見込まれる）収入額はどのくらいですか？

(N=21)

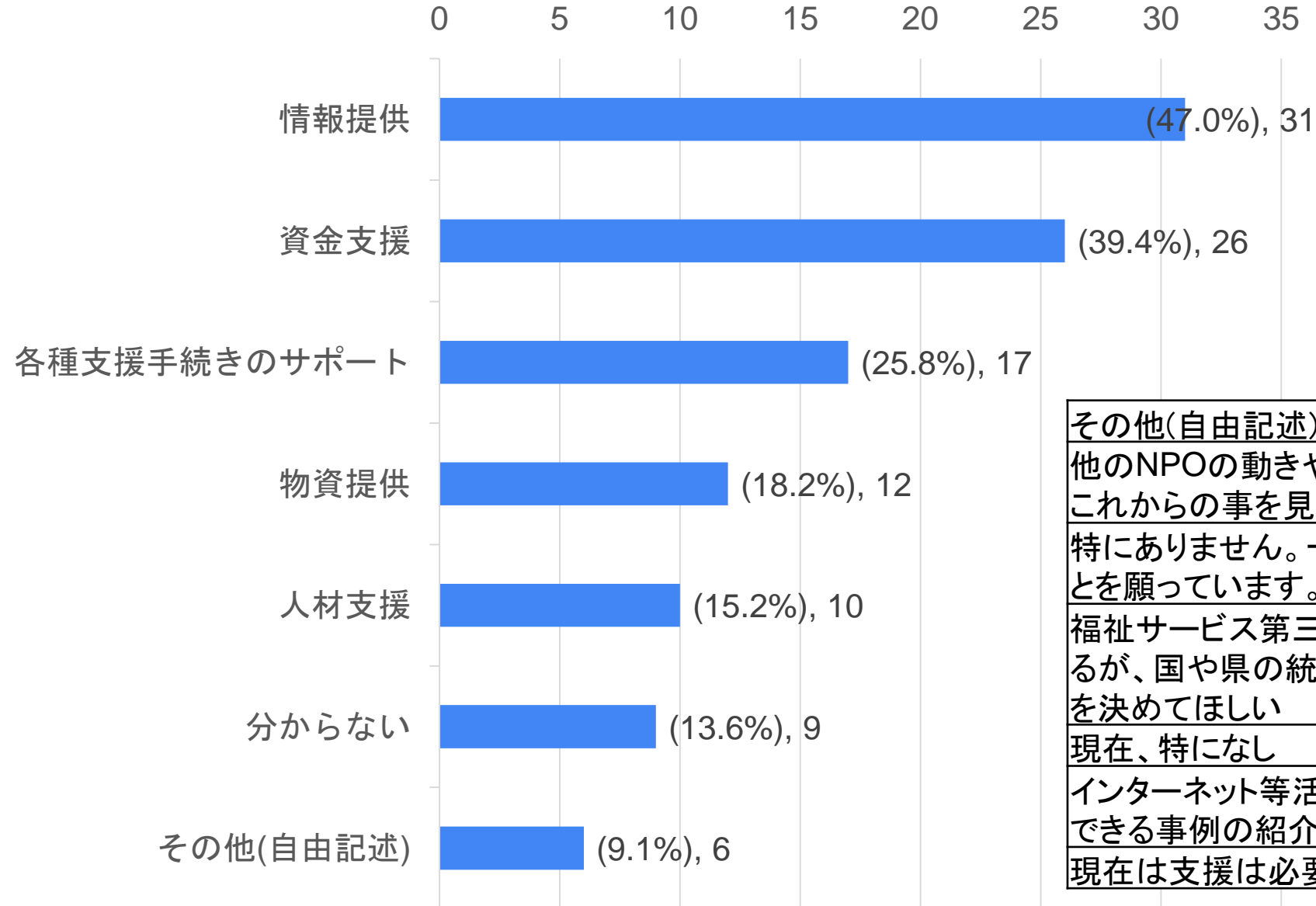
単位：円

「事業・活動の減少」・「委託費や補助金の減額や返還」にチェックした方にお聞きします。

最小値	50,000
	100,000
	170,000
	200,000
	200,000
	300,000
	300,000
	400,000
	400,000
	700,000
	1,000,000
	1,000,000
	1,500,000
	1,800,000
	2,000,000
	2,000,000
	2,500,000
	8,000,000
	10,000,000
	11,000,000
最大値	15,000,000
合計	58,620,000
平均値	2,791,429

2 どのような支援が必要ですか？

※複数回答可(N=66)



その他(自由記述)

他のNPOの動きや不安を共有できると
これからの事を見極めやすいです。

特にありません。一日も早く収束する
ことを願っています。

福祉サービス第三者評価を実施してい
るが、国や県の統一したルール・方針
を決めてほしい

現在、特になし

インターネット等活用など集まらなくても
できる事例の紹介

現在は支援は必要ではない。

3 感染拡大を防止し、参加者の健康を守るためにどのような取組を行っていますか？

※複数回答可(N=74)

0 10 20 30 40 50 60

マスク着用やアルコール消毒、注意喚起等、感染予防を講じている。



会議やイベント等の開催を自粛・延期することや代替案を検討している。



活動・事業自体を休止している（施設の閉館を含む）。



オンラインツールを活用して、会議やイベント等を実施している。



スタッフや事業関係者等と、コミュニケーションや情報交流を図っている。



組織の方針やルールを策定し運用している。



活動時間を短縮している



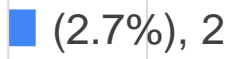
感染症対策に関する支援制度や助成金等の情報を収集している。または活用している。



一部または全員が在宅勤務（テレワーク）に切り替えている。



その他(自由記述)



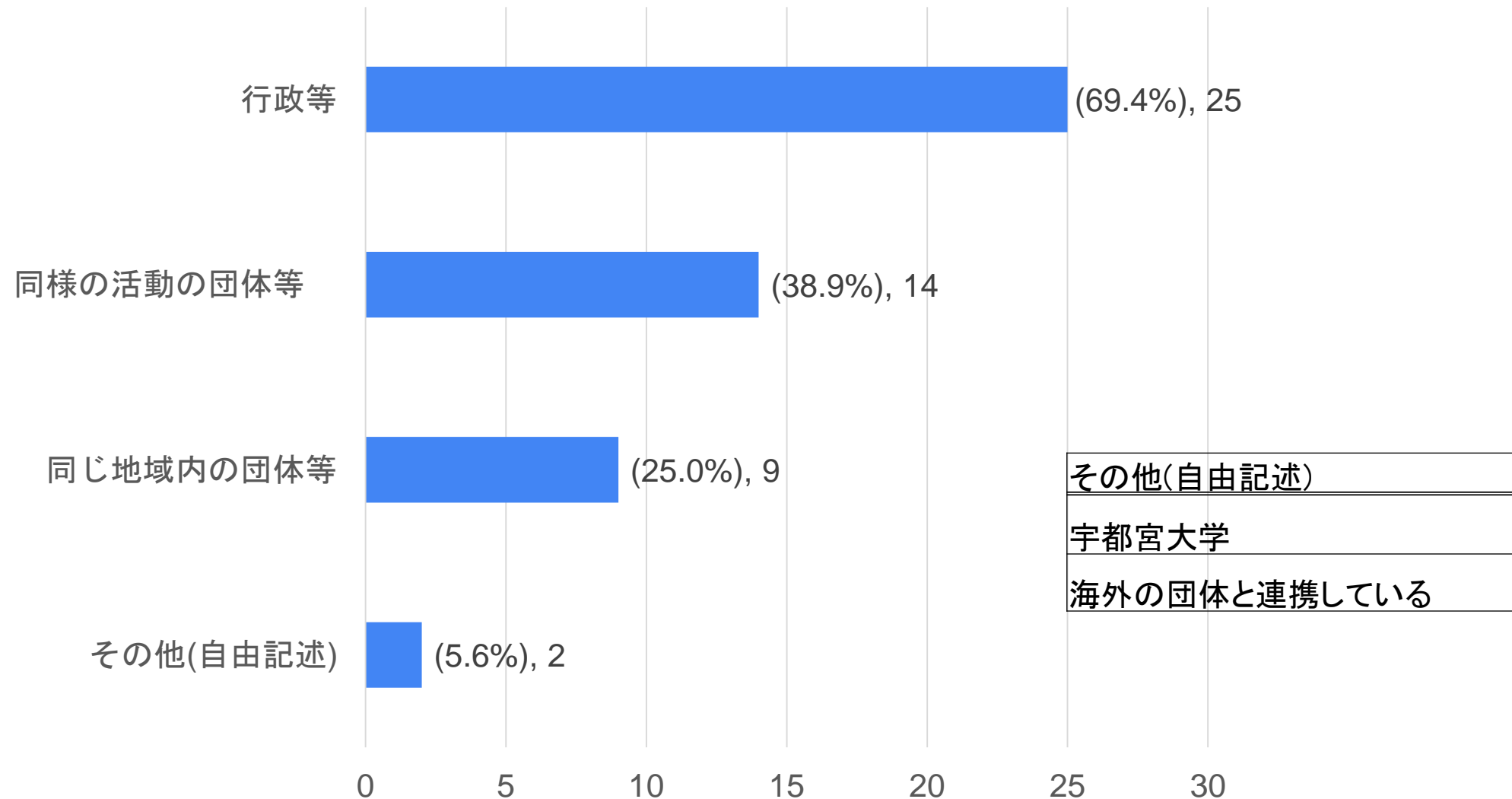
その他(自由記述)

各種報道で発信されるデータについての討議を通した合理的な視点の醸成・個々の免疫を上げるための飲食等のシェア・不安から来る分断によるストレスに対抗するのんびりとした雰囲気醸成

子どもを個別に対応するように変更

3-1 感染拡大を防止し、参加者の健康を守るための取り組みで連携している団体等があれば教えてください。

※複数回答可(N=36)



4 自由記述の主な内容

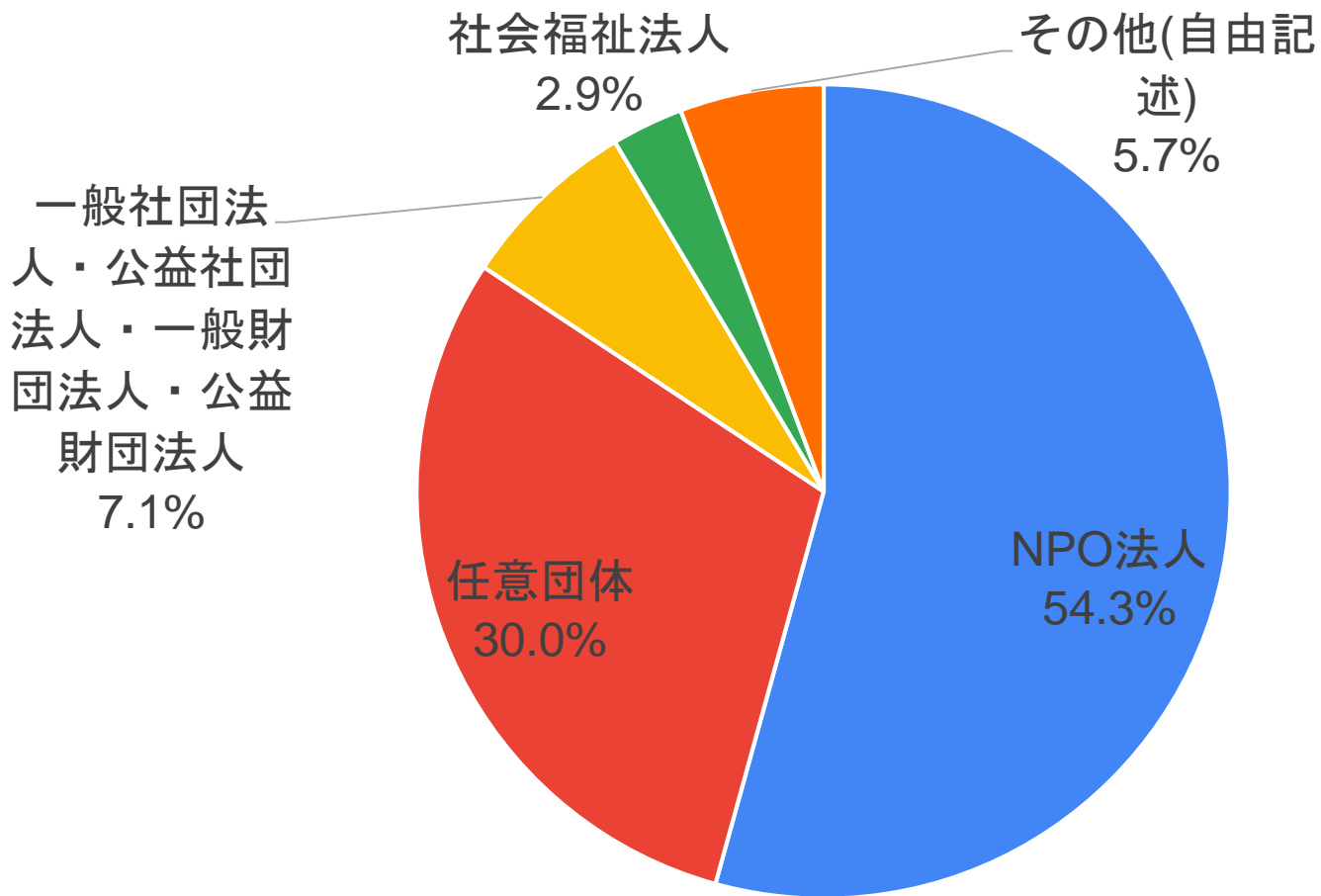
現状

- ・ 事業・活動を中止している。(27件)
- ・ 事業・活動の中止、減少により資金不足が深刻である。(13件)
- ・ 事業方法や再開の今後の見通しが立たない。(8件)
- ・ 会員・活動者のモチベーション低下が心配である。(14件)
- ・ つながりの希薄化が心配である。(3件)

取組み

- ・ 感染防止対策をとった。(7件)
- ・ オンラインツールの活用している。(14件)
- ・ コロナ問題に対し、新たな取り組みを始めた。(6件)

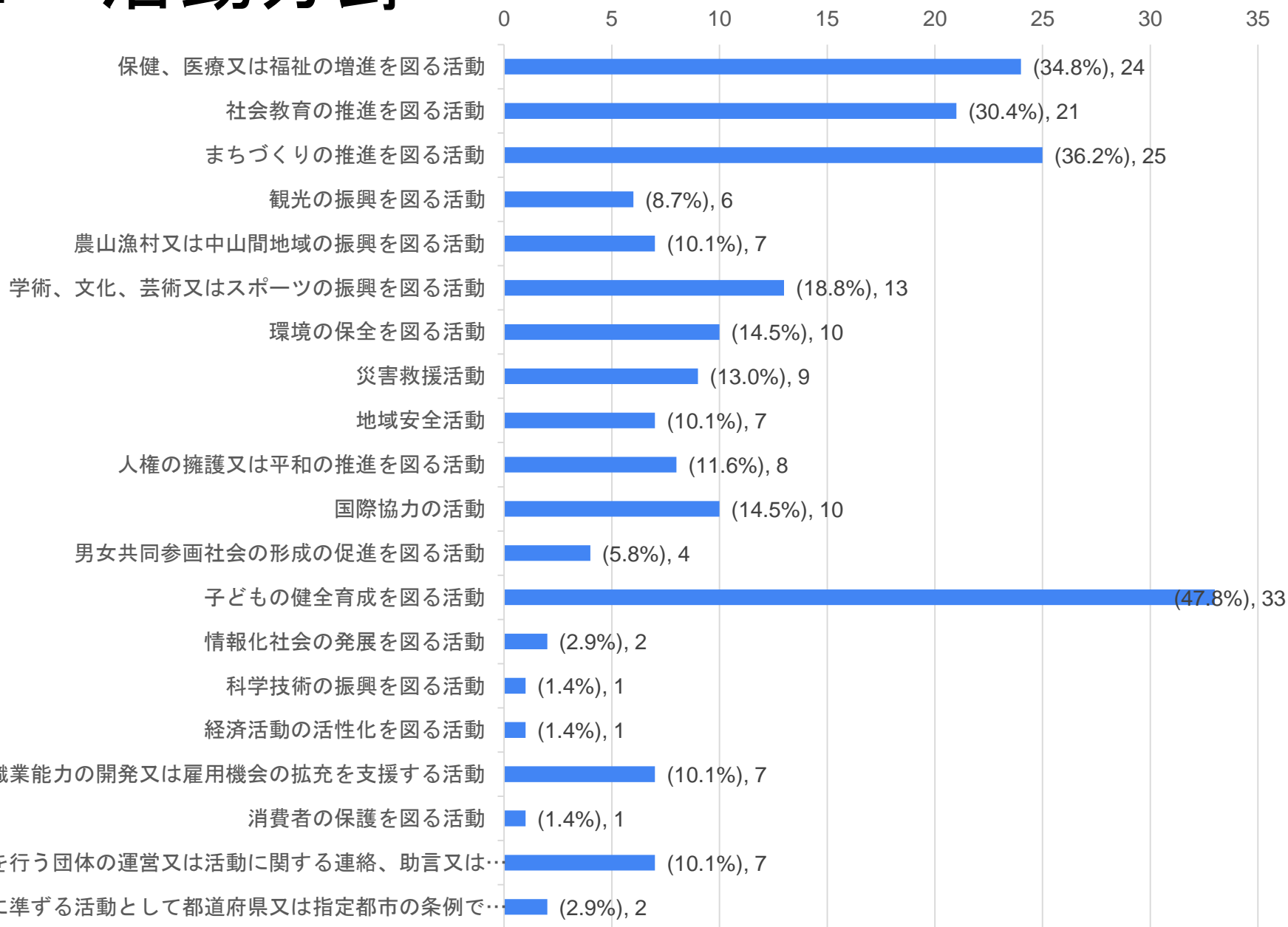
5 回答者について (N=67)



その他(自由記述)
4月19日設立総会開催予定であった任意団体
医療法人
個人
合同会社

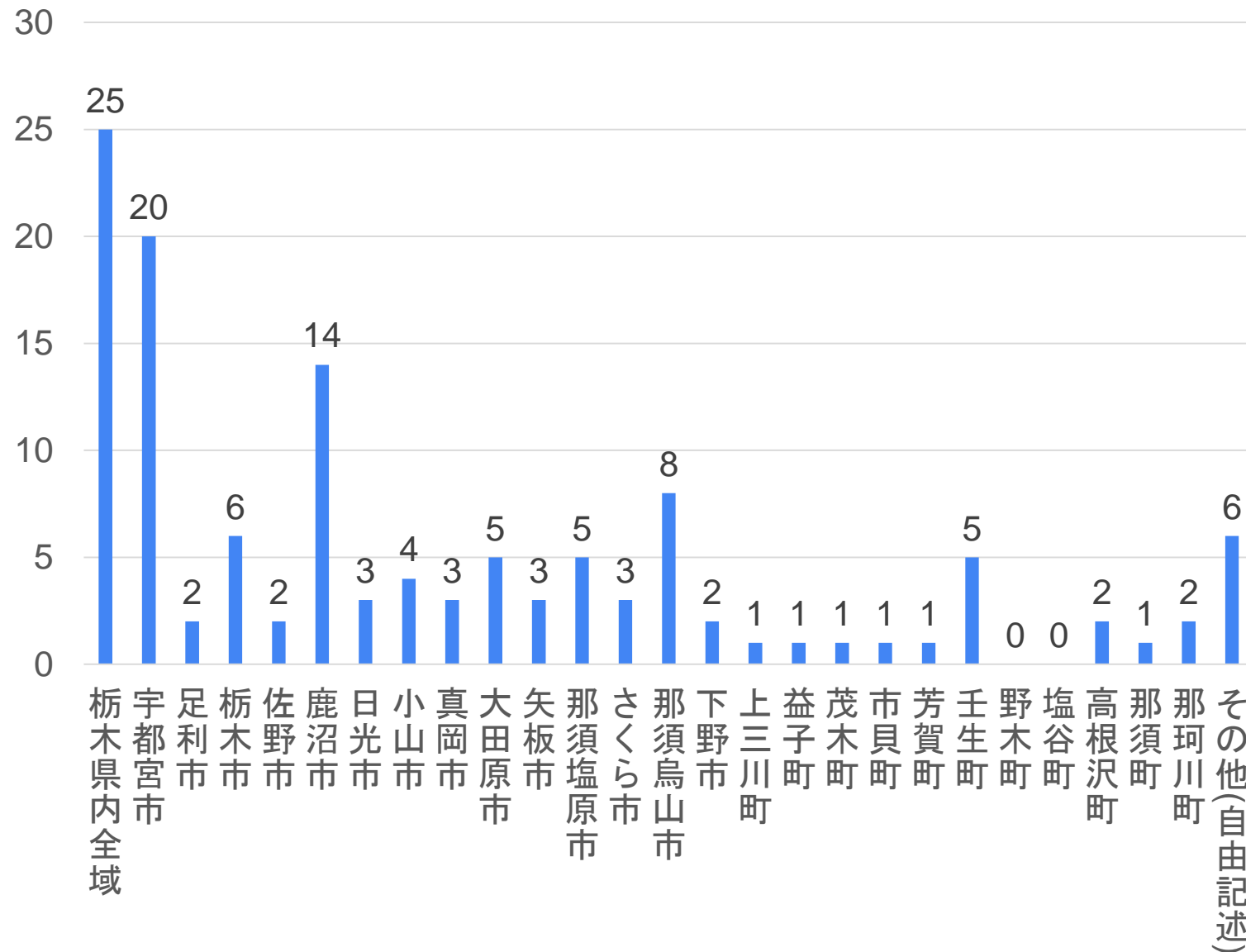
5-1 活動分野

※複数回答可(N = 69)



5-2 活動地域

※複数回答可(N=71)



その他(自由記述)
栃木県・福島県・山梨県・東京都
災害救援は全国
陸前高田市・他
韓国釜山市
日本全域 ドイツ
インド UP州

6 まとめ

- 集まらない、つながれないために、「活動ができない」、「計画を立てられない」等の状態になり、今後の取組に大きな不安を持っている団体がある。
- 会員や活動者が集まらない（ひと）、事業・活動が行えない（こと）、資金等が確保できない（もの）等になり、継続も懸念される団体がある。
- 一方で、オンラインツールの活用や感染防止策の取り組みを積極的に行うなど前向きな取組も目立つ。
- 必要とされる支援では、情報、資金、手続きサポートだった。
- 情報では、持続化給付金などの実益のある「情報」、さらに不安を払拭し希望の持てる「情報」が大切である。